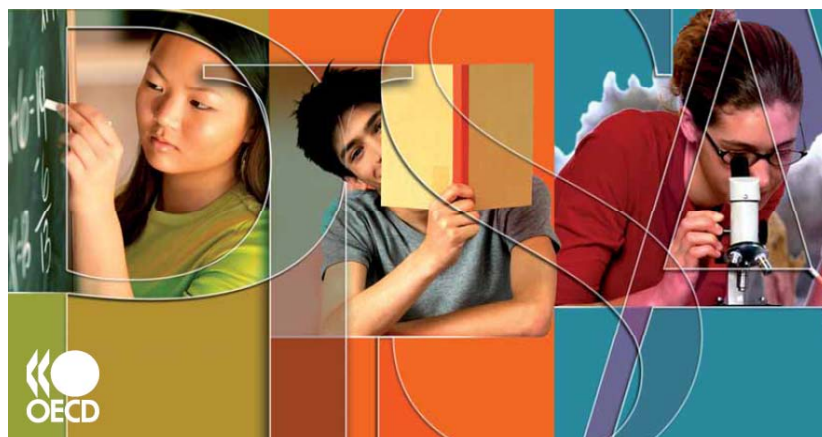


# PISAが示すもの

- OECD・生徒の学習到達度調査(PISA)  
高校1年生対象

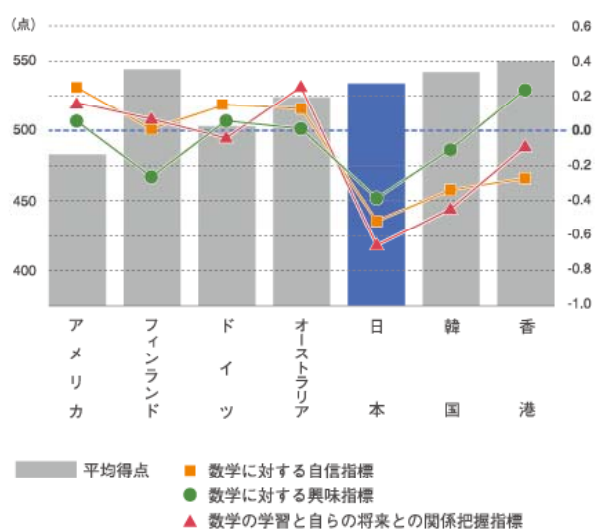
PISA – THE OECD PROGRAMME FOR INTERNATIONAL STUDENT ASSESSMENT



13

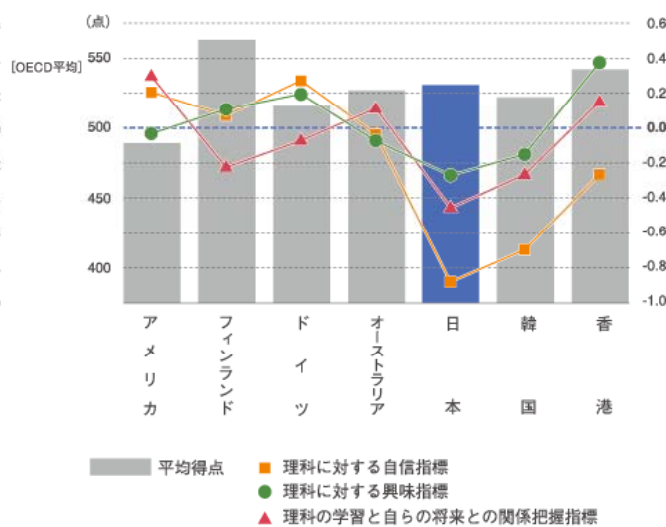
## PISA2003

数学的リテラシー (PISA2003より)



## PISA2006

科学的リテラシー (PISA2006より)



\*注: グラフ中の各指標は、各設問に対する肯定的回答(全くそう思う・そう思う)のOECD加盟国平均を0.0として算出されたものです。

「自信指標」=「理科(数学)の内容ならすぐに理解できる」など5項目の設問に対する回答に基づく

「興味指標」=「科学(数学)についての本を読むのが好きだ」など5項目の設問に対する回答に基づく

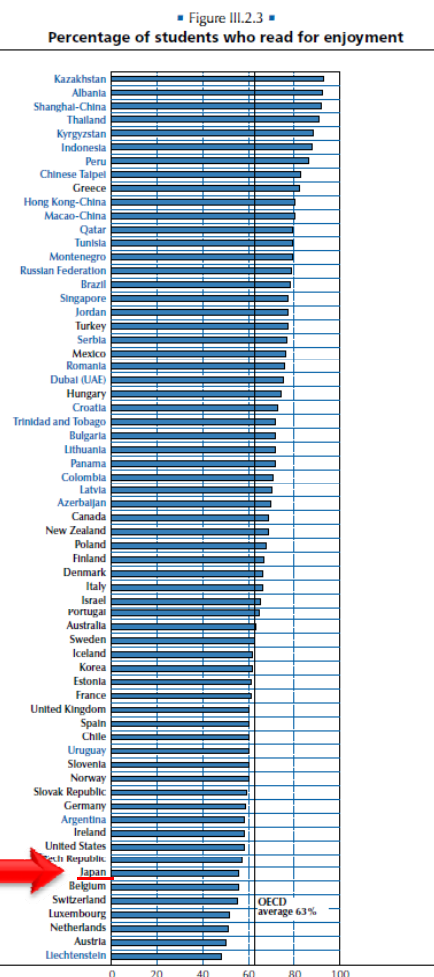
「自らの将来との関係把握指標」=「理科(数学)の科目を勉強することは、将来の仕事の可能性を広げてくれるので、私にとってやりがいがある」など5項目の設問に対する回答に基づく

# PISA 2009

## 【分野別の結果】



「楽しむために読書をする」  
生徒の割合  
(Percentage of students who read for enjoyment)



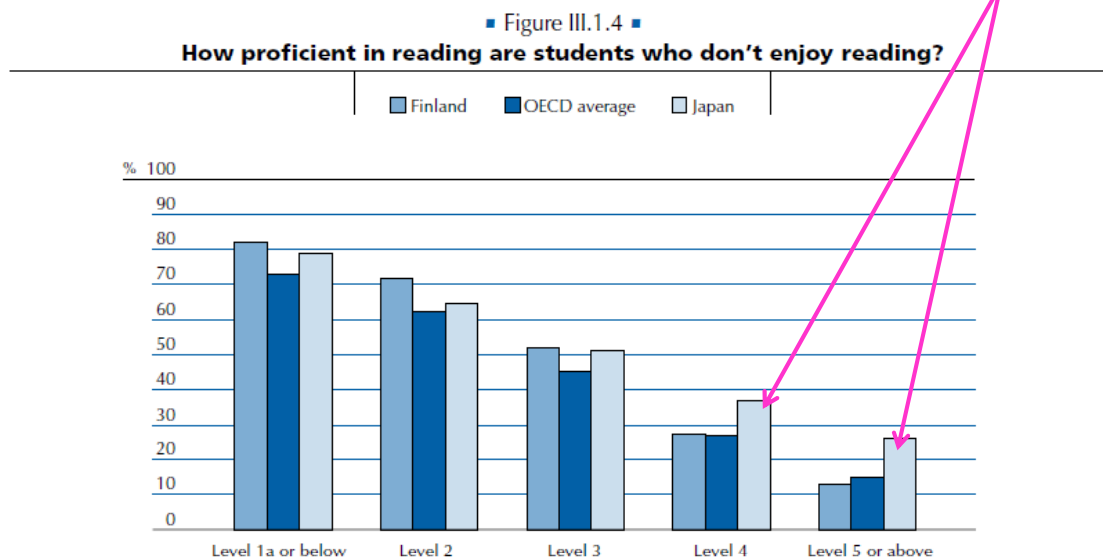
日本

## 特異傾向を示す国としての 日本への注目

【読解力レベル別に見た  
「読書は嫌い」の生徒が占める割合】

成績上位層でも  
「読書は嫌い」が多い日本

※「嫌い」でも「できる」日本の生徒



Note: This figure shows the proportion of students with below average levels of enjoyment of reading (compared to the average student in the country), by proficiency level on the reading scale.

## 日本の教育の本当の危機

- 学びに対する興味関心の希薄さ
- 将来との関連性が見えないままでの学び
- 受験終了後に剥落する「知」の危険性

### 科学技術に関する意識調査

—2001年2～3月調査—  
文部科学省 科学技術政策研究所

調査時期：平成13年2月23日（金）～3月23日（金）

調査対象

(1)設計標本数：3000 標本

(有効回収数 2146 人、有効回収率 71.5%)

(2)対象地域・対象者：全国 18 歳以上男女（69 歳まで）

(3)抽出法：住民基本台帳からの層化2段無作為抽出法

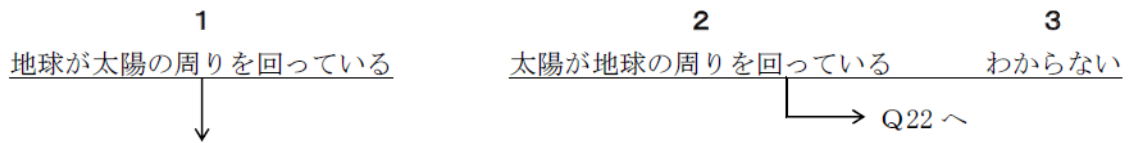
調査方法：調査員による面接聴取（訪問面接法）

- (9)大陸は何万年もかけて移動しており、これからも移動するだろう…………… 1 …………… 2…………… 3
- (10)現在の人類は原始的な動物種から進化したものである… 1 …………… 2…………… 3
- (11)喫煙は肺がんをもたらす…………… 1 …………… 2…………… 3
- (12)ごく初期の人類は恐竜と同時代に生きていた…………… 1 …………… 2…………… 3
- (13)放射能に汚染された牛乳は沸騰させれば安全である… 1 …………… 2…………… 3

Q20. 光と音はどちらが速いと思いますか。

- 1 光                      2 音                      3 どちらも同じくらい                      4 わからない

Q21. 地球が太陽の周りを回っていますか、太陽が地球の周りを回っていますか。



S Q. 地球が太陽の周りを回るのにどれくらいかかりますか。「1日」ですか、「1ヵ月」ですか、「1年」ですか。

- 1 1日                      2 1ヵ月                      3 1年                      4 その他 (                      )                      5 わからない

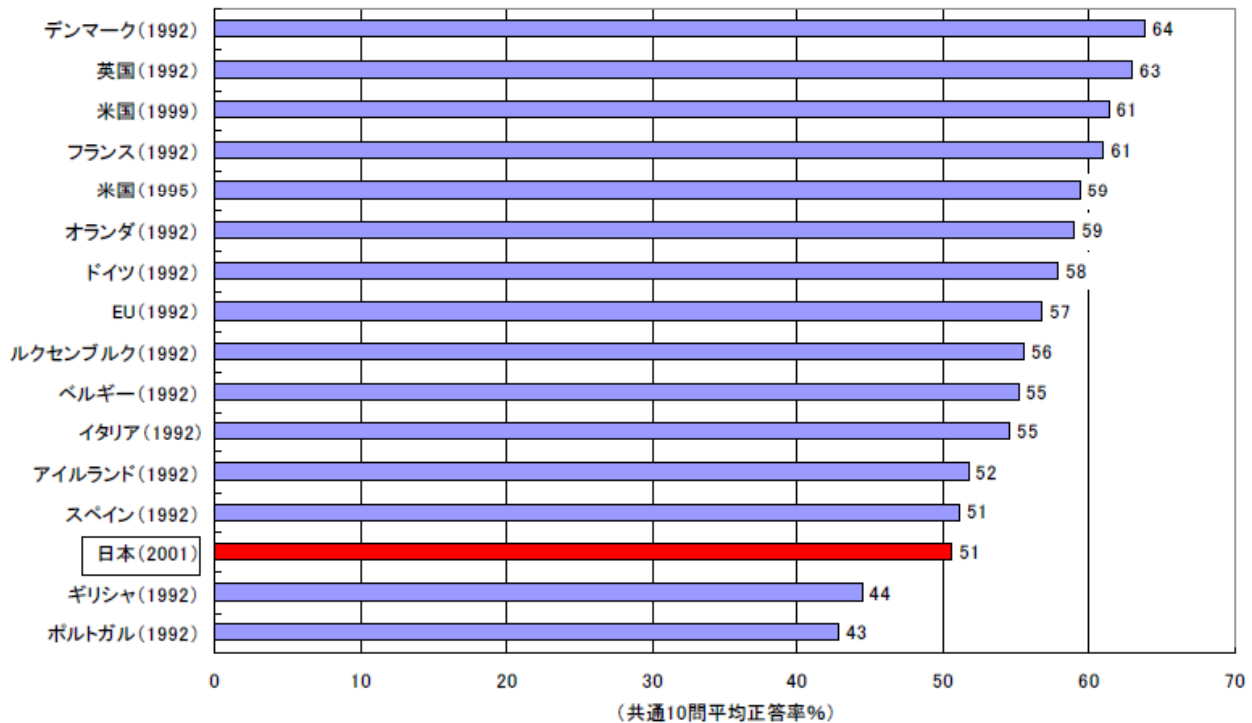


図 2-16. 科学技術の基礎的概念理解度 15ヶ国地域共通 10問平均正答率比較